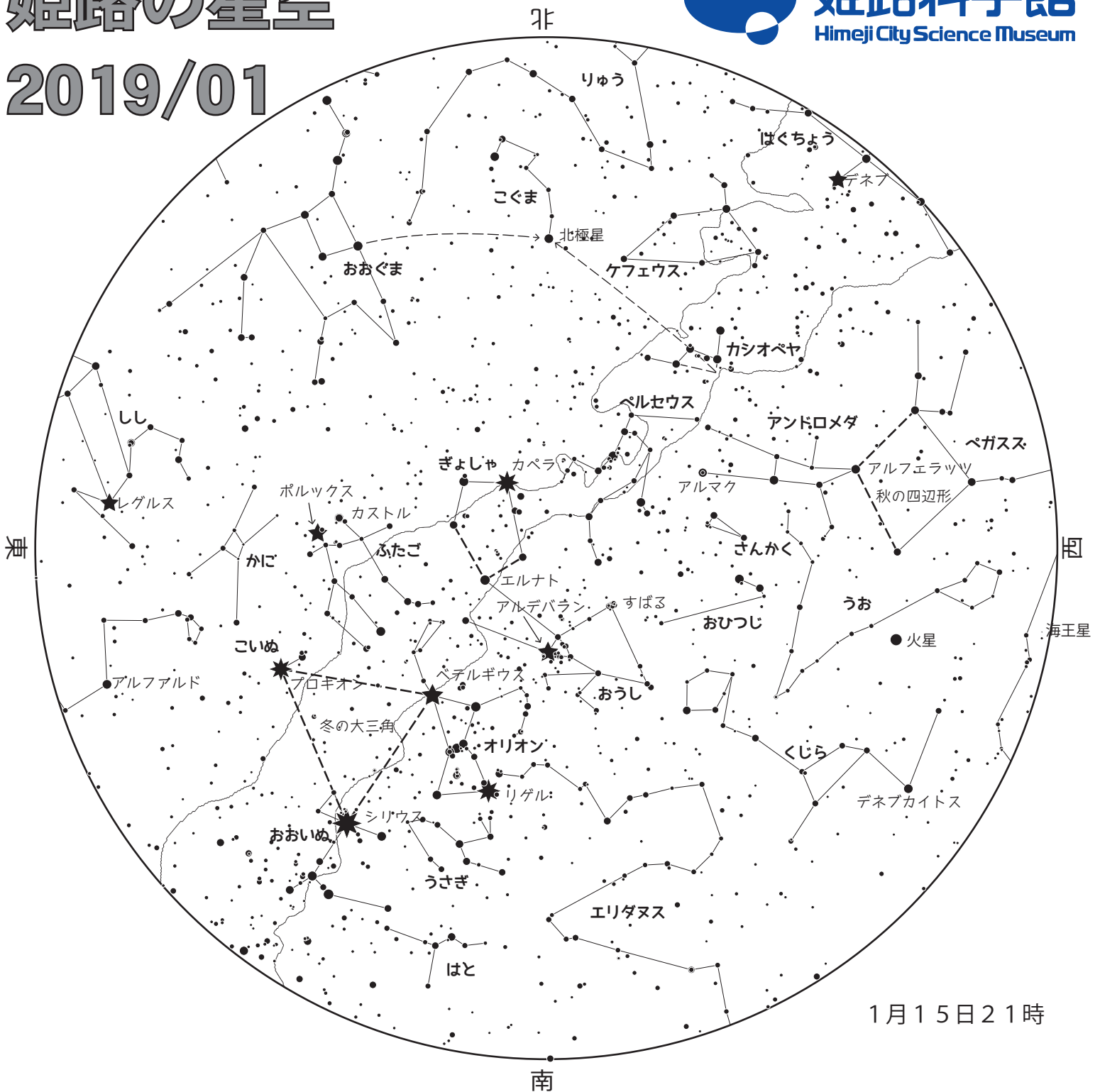


# 姫路の星空

## 2019/01



1月15日21時

冬の星が目立つようになりました。はじめに南東の空の冬の三大角を探しましょう。3つの星は**おおいて座**のシリウス、**こいて座**のプロキオン、**オリオン座**のベテルギウスです。シリウスは全天で一番明るく輝く恒星です。ベテルギウスからリボンのような形をたどるとオリオン座です。まんなかの三つ星はベルト、ベテルギウスは肩、リゲルは足の星です。南の空高くには**おうし座**が見えます。アルデバランのまわりのV字型に並んだ星たちはヒヤデスといい、星の群れ(星団)を作っています。おうし座にはもう一つの星団「すばる」もあります。おうし座の北隣には、カペラとともに**ぎよしゃ座**の五角形がたどれます。ただし、エルナトは本当はおうし座の角の星です。オリオン座の左側には**ふたご座**があり、頭のところに二人の名がついたカストルとポルックスが並びます。西の空には秋の名残の星たちや火星が見えます。火星は秋の四辺形と**くじら座**のデネブカイトスを目印にすると、星座の中を動く様子が確かめられるでしょう。

東の空には春の星たちが見え始めています。1年で一番寒い時期ですが、**しし座**のレグルスや北斗七星を見つけると、春の訪れを感じますね。